

お客様各位

富士通エフ・オー・エム株式会社

基本情報技術者試験 平成26年度春期試験の出題傾向分析について

日頃は、FOM出版をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。

先般、4月20日(日)に実施されました基本情報技術者試験 平成26年度春期試験の出題傾向を分析いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 午前問題の出題傾向

今回の春期試験の「カテゴリ別」「問題形式別」の出題傾向は、次のとおりです。

※参考までに、「平成25年度春期試験」「平成25年度秋期試験」の数値も記載しています。

●カテゴリ別

カテゴリ	大分類	H25 春 出題数	H25 秋 出題数	H26 春 出題数
テクノロジー系	基礎理論	9問	10問	11問
	コンピュータシステム	14問	15問	9問
	技術要素	19問	20問	※24問
	開発技術	8問	5問	6問
	小計	50問	50問	50問
マネジメント系	プロジェクトマネジメント	4問	5問	4問
	サービスマネジメント	6問	5問	6問
	小計	10問	10問	10問
ストラテジ系	システム戦略	5問	7問	5問
	経営戦略	8問	6問	8問
	企業と法務	7問	7問	7問
	小計	20問	20問	20問
全合計		80問	80問	80問

※今回の春期試験から「大分類:技術要素」の「中分類:セキュリティ」の出題比率が高くなりました。

●問題形式別

テキスト内の解説の有無	H25 春 出題数	H25 秋 出題数	H26 春 出題数
用語(用語の説明や関連する用語を選択する問題)	29問 (36%)	37問 (46%)	27問 (34%)
事例(具体的な事例に基づいて解答する問題)	33問 (41%)	26問 (33%)	40問 (50%)
計算(数値や計算式を求める問題)	15問 (19%)	14問 (18%)	11問 (14%)
データベース(データベース設計の知識が問われる問題)	3問 (4%)	3問 (4%)	2問 (3%)
合計	80問 (100%)	80問 (100%)	80問 (100%)

※なお、問題の分析はあくまでも当社独自の判断によるものです。

2. 午後問題の出題テーマ

今回の春期試験の午後問題で出題された取り扱いテーマは、次のとおりです。

午後試験の分野		選択／必須	H26 春 出題テーマ
情報セキュリティ		※必須	情報資産についてのリスクアセスメント
コンピュータシステム	ハードウェア	6 問中 4 問選択	機械語命令
	ソフトウェア		プログラムの並列実行
	データベース		(出題なし)
	ネットワーク		ネットワークにおけるスループットの改善
ソフトウェア設計			システム統合に伴うソフトウェア設計
マネジメント	プロジェクトマネジメント		ファンクションポイント法を用いた工数見積り
	IT サービスマネジメント		(出題なし)
ストラテジ	システム戦略		(出題なし)
	経営戦略・企業と法務		システム移行の作業計画
データ構造及びアルゴリズム		必須	空き領域の管理
ソフトウェア開発	C	5 問中 1 問選択	テキストの編集
	COBOL		英語の検定テストの結果管理
	Java		雑誌記事のオンライン購読サイト
	アセンブラ		文字列中の単語の切出し処理
	表計算		顧客情報の匿名化

※今回の春期試験から「情報セキュリティ」が必須問題になりました。

3. 問題分析

今回の春期試験は、午前問題・午後問題ともに、例年並みの標準的な難易度でした。

平成 22 年度以降、難易度はほぼ安定した状態が続いています。

【午前問題】

シラバス全体から幅広く出題される傾向や、過去問題からの流用が多い傾向は、これまでと同様です。

カテゴリ別に見ると、「テクノロジ系」の「技術要素」の問題が増えて、「コンピュータシステム」の問題が減っています。そして、今回出題された「技術要素」の 24 問のうち、実に 9 問が「情報セキュリティ」に関する問題となっており、「メッセージダイジェスト」「PKI」「バックドア」「ソーシャルエンジニアリング」などの問題が出題されています。

これは、2013 年 10 月 29 日に情報処理推進機構（以下、IPA）から公開されたプレスリリース『「情報セキュリティ」に関する出題の強化・拡充』（※）に対応するもので、企業活動において情報セキュリティの重要性が高まっているため、情報セキュリティに関する出題数が増えることとなりました。次回の秋期試験以降も同様の出題傾向となりますので、情報セキュリティは重点的に学習する必要があります。

情報セキュリティ以外では、「WBS」「クリティカルパス」「労働者派遣」「SOA」「デジタルディバイド」「SQL 文」などが今回も出題されています。これらは頻出問題といえるので、確実に押さえておきましょう。

また、シラバスに記載されていない内容として、「MDM」「エスクローサービス」「テザリング」などが出題されています。比率としては、これまでと同様に 1 割弱程度です。

※プレスリリースの内容については、<http://www.ipa.go.jp/about/press/20131029.html> をご参照ください。

【午後問題】

全体を通して、取り組みやすい問題が多くあり、全体的には、標準的な難易度と言えます。

ただし、問題によっては計算やトレースなどで時間を取られるものもあり、選択する問題によっては、難易度の受けとめ方にばらつきがあると思われます。

なお、今回の春期試験から「情報セキュリティ」が必須問題となり、「問 1」に登場しています。午前試験同様、IPA から公開されたプレスリリース『「情報セキュリティ」に関する出題の強化・拡充』に対応するものです。

一方、これまでコンスタントに出題されていた「データベース」からの出題はありませんでした。

また、「表計算」は前回の秋期試験同様に短文化されて、取り組みやすくなっています。ソフトウェア開発に「表計算」が加わったのは平成 21 年度。しばらく問題文の長さや難易度が安定しませんでした。今回を含めて直近の 2 回では安定してきた感があります。他の言語と比べても、同等の難易度であり、標準的と言えます。

4. 試験動向

新試験に移行した平成 21 年度以降、応募者数は減少傾向にあり、年間で 1 万～2 万人の大幅減となっています。

ただ、今回の春期試験の応募者数は、前回の平成 25 年度春期試験と比べて約 1,500 人程度の減少に止まり、これより減少幅が小さくなっているようです。

年度	春期	秋期	年間
平成 21 年度	90,752 名	107,800 名	198,552 名
平成 22 年度	92,108 名	100,113 名	192,221 名
平成 23 年度	(特別)88,001 名	82,090 名	170,091 名
平成 24 年度	75,085 名	79,674 名	154,759 名
平成 25 年度	66,667 名	76,020 名	142,687 名
平成 26 年度	65,141 名	—	—

5. 教材ラインナップ

当社の基本情報技術者試験対策教材のラインナップは、次のとおりです。

いずれも好評発売中！ ぜひ、ご利用ください。

No.	教材名	型番 価格(税抜)	説明
1	基本情報技術者試験 対策テキスト 平成 25-26 年度版	FPT1213 2,200 円	シラバス (Ver2.0) に沿って必要な知識を解説する教科書兼参考書。 プログラム言語は「表計算」の解説のみ収録しています。 ※プログラム言語「C」「COBOL」「Java」「アセンブラ」の解説は収録していませんので、ご注意ください。
2	基本情報技術者試験 直前対策 2 週間完全プログラム シラバス Ver2.0 準拠	FPT1220 1,500 円	シラバス (Ver2.0) に記載されている用語の中から、出題傾向の高い用語を抜粋して解説した用語集。 ※プログラム言語「C」「COBOL」「Java」「アセンブラ」「表計算」の解説は収録していませんので、ご注意ください。

以上